

1 東京都中央卸売市場(平成25年1~3月計)の青果物取扱高について

- ①全体の入荷量は47万7千トン(前年比99%, 平年比97%), 金額は1,229億円(前年比89%, 平年比97%)となった。
- ②茨城産の入荷量は4万9千トン(前年比102%, 平年比102%), 金額は101億円(前年比87%, 平年比92%)となった。
- ③千葉産の入荷量は5万9千トン(前年比97%, 平年比91%), 金額は114億円(前年比87%, 平年比96%)となった。

単位:t, 百万円, %

		市場計			茨城			千葉		
		1~3月計	年間計	年間比	1~3月計	年間計	年間比	1~3月計	年間計	年間比
数量	H25	477,033			49,337	←シェア(10.3%)		59,060	←シェア(12.4%)	
	H24	482,581	2,045,526	23.6	48,395	223,562	21.6	60,872	228,981	26.6
	(前年比)	(99)			(102)			(97)		
	平年値※	489,533	2,065,617	23.7	48,205	232,431	20.7	64,669	237,615	27.2
	(平年比)	(97)			(102)	シェア(9.8%)		(91)		
金額	H25	122,891			10,091	←シェア(8.2%)		11,426	←シェア(9.3%)	
	H24	138,303	511,249	27.1	11,637	47,837	24.3	13,089	43,230	30.3
	(前年比)	(89)			(87)			(87)		
	平年値※	127,251	508,736	25.0	10,920	51,392	21.2	11,908	43,006	27.7
	(平年比)	(97)			(92)	シェア(8.6%)		(96)		

※平年値は平成19,20,21,22,24年の5ヵ年平均です。

【参考】

平成24年実績
1~12月計

茨城県 : 金額シェア(9.4%) , 数量シェア(10.9%)
千葉県 : 金額シェア(8.5%) , 数量シェア(11.2%)

【参考】3月のみ

3月は気温が高くなり(参考:関東甲信越地方の3月の平均気温の平年差は+2.7℃:気象庁ホームページより), 入荷量は増加した(全体で前年比103%, 茨城は108%, 千葉は105%)。価格は低下し, 金額は前年を大きく下回った(全体で前年比83%, 茨城は75%, 千葉は75%)。

単位:t, 百万円, %

3月		市場計			茨城			千葉		
		野菜+果実	野菜	果実	野菜+果実	野菜	果実	野菜+果実	野菜	果実
数量	H25	168,099	134,607	33,492	15,295	14,528	767	20,032	19,926	106
	H24	163,397	130,085	33,312	14,216	13,613	603	19,072	18,995	77
	(前年比)	(103)	(103)	(101)	(108)	(107)	(127)	(105)	(105)	(139)
	平年値※	167,718	130,276	37,442	15,356	14,672	683	20,476	20,381	95
	(平年比)	(100)	(103)	(89)	(100)	(99)	(112)	(98)	(98)	(112)
金額	H25	40,242	27,722	12,521	3,285	2,702	583	3,376	3,287	89
	H24	48,711	34,803	13,908	4,391	3,838	553	4,485	4,399	86
	(前年比)	(83)	(80)	(90)	(75)	(70)	(105)	(75)	(75)	(104)
	平年値※	45,262	31,396	13,866	4,262	3,702	560	4,046	3,950	96
	(平年比)	(89)	(88)	(90)	(77)	(73)	(104)	(83)	(83)	(93)

2 東京都中央卸売市場(平成25年3月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

野菜類の入荷量は1万5千トン(前年比107%, 平年比99%), 単価は186円/kg(前年比66%, 平年比74%)。
果実類の入荷量は767トン(前年比127%, 平年比112%), 単価は760円/kg(前年比83%, 平年比92%)。

	品目	数量 t		単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	レタス	3,191	147.8	144.1	124	47.3	60.2	66.8	397,134	70.1	87.0
	はくさい	3,075	74.4	85.1	45	44.1	54.9	70.3	136,971	32.4	46.4
	ピーマン	684	166.3	106.3	459	56.9	71.3	74.3	313,629	94.5	75.6
	れんこん	993	147.5	154.7	253	49.8	53.5	58.5	250,916	73.4	82.5
	きゅうり	796	117.6	109.0	209	51.9	67.0	67.9	166,652	61.1	73.2
	野菜類計	14,528	106.7	99.0	186	66.0	73.5	85.5	2,702,037	70.4	73.0
	とちおとめ	499	120.6	115.1	802	84.2	95.1	94.0	399,838	101.5	109.6
	果実類計	767	127.2	112.3	760	82.9	92.2	100.5	583,141	105.4	104.1

※平年値は平成19,20,21,22,24年の5ヵ年平均です。

- ・**レタス** :茨城産の数量は多く(市場全体では7,759t前年比125%), 単価は低くなり, 金額は前年を大きく下回った。
- ・**はくさい** :茨城産の数量は少なかったが(市場全体では8,659t前年比92%), 単価は前年を下回り, 金額は前年を大きく下回った。
※はくさい, レタスについては, 強風の影響により土砂が混入し, 品質の低下が見られことから, 他産地以上に価格が低下した。
- ・**ピーマン** :茨城産の数量は多く(市場全体では1,766t前年比135%, 競合する宮崎県は497t前年比131%), 単価は低くなり, 金額は前年を下回った。
- ・**れんこん** :茨城産の数量は豊作により, 前年より多く(市場全体では1,030t前年比140%), 単価は低くなり, 金額は前年を下回った。
- ・**きゅうり** :茨城産の数量は多く(市場全体では6,535t前年比119%), 単価は低くなり, 金額は前年を下回った。
- ・**とちおとめ** :茨城産の数量は前年より多く(市場全体では2,120t前年比125%), 単価は低くなった。金額は前年をやや上回った。

<メロンの状況(H25.4.12~15卸売業者担当者聞き取り)>

- ・現在熊本, 茨城産が入荷している。入荷量は平年よりやや多い。品質は糖度, 形とも良。
- ・4月上旬の価格は, メロン類で640円/kg(前年比102%)。

3 野菜の価格低迷等について(卸売業者聞き取り)

・価格低迷について

通常取引では風評の話は出ないが, 震災直後, 風評により離れた時にできたルートで流れてしまっている。品物が無いと風評が消える状況。
また, 震災直後は応援キャンペーンをやったが, 今はそれが薄れてきている。
3月は気温がゆるみ, 入荷が増加したことからキロ単価が下がった。最近, 気候の変動により出荷が不安定で, 思い切った売り込みができずにいる。

・昨今の消費の変化について

消費が変化しており, 調理時間のかからないものが求められる。煮炊きするものの消費が減り, 土ものは在庫を抱えている状況。
青果の半数以上が業務用となった。販売されている野菜は1/2, 1/4カット, 袋詰めのカット野菜(ミックス)が主である。
アベノミックスはまだ, 食品の消費にまで反映されておらず, 食を切り詰める家庭が多い。果物も単価が低いものが動く状況。